中部経済新聞
THE MID-JAPAN ECONOMIST
（第三種郵便物認可）

被災地の子どもに笑顔を

名古屋地区RC合唱団連合会

東日本大震災チャリティーコンサート

名古屋地区ロータリークラブ合唱団連合会はこのほど、名古屋市中区の中京大学文化市民会館プルニエホールで、東日本大震災で被災した子供たちを支援する「東日本大震災チャリティーコンサート2012」を開催し、会場で寄せられた義援金をあしなが育英会に寄贈した。

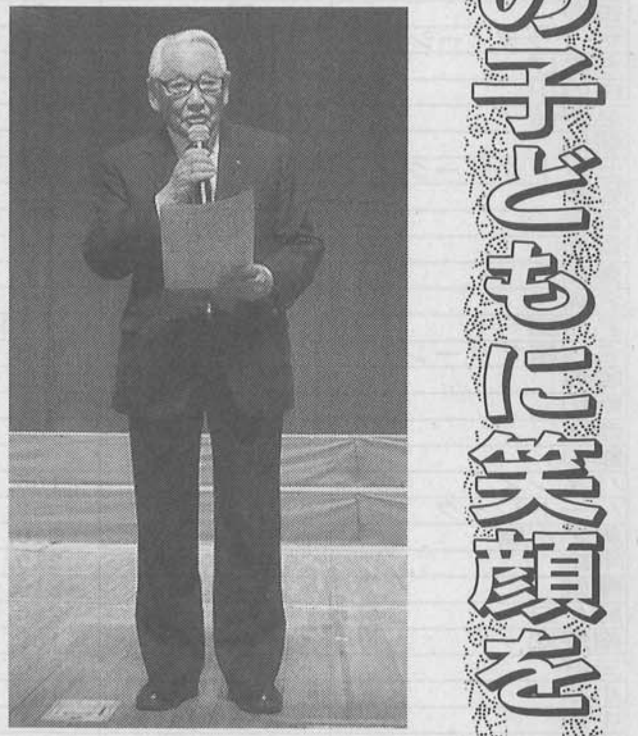
復興を願い声合わせる

あしなが育英会に義援金

名古屋地区ＲＣ合唱団の東日本大震災支援チャリティーコンサート

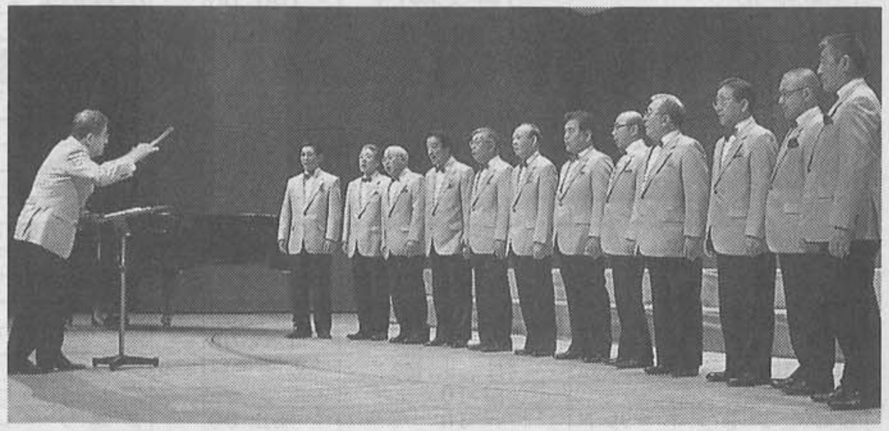
このチャリティーコンサートは昨年6月に続いて2回目の開催。会場には400人を超える人たちが詰めかけた。

コンサートに先立って、合唱団連合会の盛田和昭会長が「東日本大震災で被災した子供たちを支援するためにロータリークラブの合唱団が力を合わせて奉仕活動をしようと昨年6月に第1回のチャリティーコンサートを開催したところ、多くの方々の協力を得ることができました。つらいことですが、親を亡くした子供たちの数は多く、こうした支援活動は息長く続けていくことが必要であり、少なくとも10年は続けていきたい。皆さま方のご協力をお願いします」と協力を呼びかけた。



協力を呼びかける盛田会長

コンサートは2部構成で行われた。第1部は、ロータリアンと家族らで結成されている▽名古屋名南ロータリークラブ混声合唱団▽メール・アカンターレ（名古屋東南RC）▽コール・カメリア（名古屋名駅RC）▽コール・スイーツ（あまRC）▽オオスシンガーズ（名古屋大須RC）▽コール・ロータリー名古屋（第2760地区15クラブ）の6グループが見事なハーモニーを披露した。



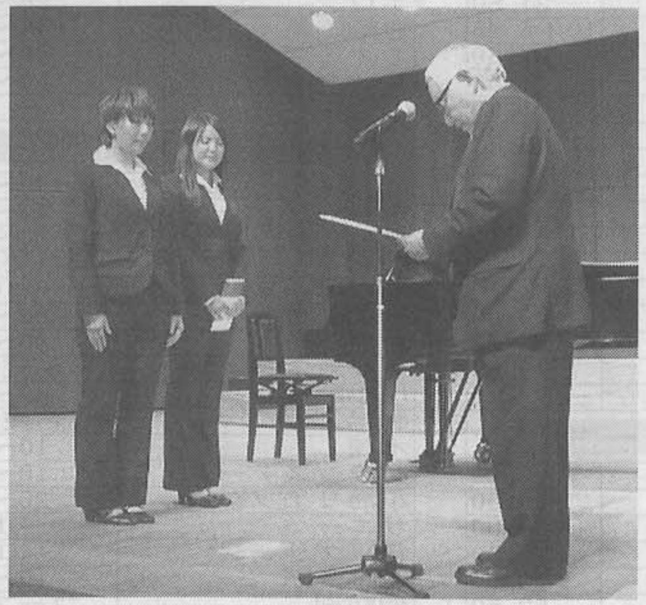
見事なハーモニーを披露するロータリアンたち

息長い協力呼び掛け

第2部は、コンサートの趣旨に賛同した東海地区を中心に活躍する声楽家の井原義則さん（テノール）、川口豊さん（バス）、夏目久子さん（メゾソプラノ）の3人が熱唱して会場を魅了した。

最後に、盛田会長から会場で寄せられた義援金（83万6630円）をあしなが育英会に贈り、ふるさとの一日も早い復興を願って全員で「故郷」を合唱してチャリティーコンサートを終えた。

次回は、来年5月9日に日本特殊陶業市民会館ビレッジホール（名古屋市民会館内）で開催する。



義援金を贈る盛田会長（右）